

# この文書は誰が出した？



義経、頼朝、泰時、後醍醐、尊氏、政元、  
信長、次郎兵衛、明阿弥陀仏…  
有名無名のあの人が出した  
中世文書のバラエティー

禁制 舟別多紀野河社面寺  
一軍甲し人等遊傍隈結中事  
一山林下伐取竹木事  
一桐懸松隈木并津吏事  
右條、明令傳記三記在有違犯之筆者  
不丁被流科也切下知所併  
文明十四年五月日

播磨國下侍係  
林の藤岡乃みか  
入定之者前より  
ふりかへり



下 吾國在衛尉朝政  
可早任政所友有類事所續  
有付所、所成賜政所下友也  
仰具狀可領掌、之狀如時  
鎌三之身九月十二日



企画展示

# 中世の古文書

— 機能と形 —

2013年 10月8日(火) ~ 12月1日(日)  
会場 / 国立歴史民俗博物館 企画展示室 A・B

【開催時間】午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時00分まで)  
【休館日】10月15日・21日・28日 11月 5日・11日・18日・25日  
【入館料】一般830円(560円) / 高校生・大学生450円(250円) / 小・中学生は入館料無料です。  
※( )内は20名以上の団体料金 ※総合展示もあわせてご覧になれます。  
※毎週土曜日は、高校生の入館料無料です。

30<sup>th</sup> Anniversary 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国立歴史民俗博物館 NATIONAL MUSEUM OF JAPANESE HISTORY  
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 TEL:043-486-0123(代)

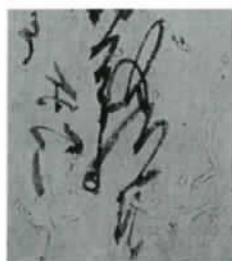


# 中世の古文書

— 機能と形 —

文書は、書かれた内容がまず注目されますが、「形」すなわち、書式や文字の書き方、素材、大きさ、色などにも、文書の「機能」に応じたさまざまな意味が込められています。そして、それらは社会のあり方と共に歴史的に変化しており、物資料としても魅力にあふれています。また文書は、内容が伝達された時だけでなく、それが保存され、伝来する過程でも、二次的に多くの機能を果たしています。

このような、さまざまな「機能と形」に注目して、今日に伝来した中世文書の諸相をご紹介します。古文書を「見る楽しさ」を味わっていただければ幸いです。



源義経(義経奉)  
(6)の「自筆書状」から



執権・北条泰時(武蔵守平(花押))  
連署・北条時房(相模守平(花押))  
(5)の「関東下知状」から



足利尊氏(源氏花押)  
(食和元年(一三四五)の  
「版本法華経」奉納書状から



明阿弥陀仏印と爪印が本人  
(8)の「屋地寄進状」から

## 表面に掲載した展示資料



- ①細川政元制札(1482)(兵庫県 和田寺蔵)
  - ②後醍醐天皇論旨<署名は中御門経季>(1333) ○越前島津家文書
  - ③織田信長朱印状(1581) 石見亀井家文書
  - ④北条家伝馬手形(1587)
  - ⑤関東下知状<署名は北条泰時・時房>(1235)
  - ⑥源義経自筆書状(1185) ○高山寺文書
  - ⑦足利尊氏軍勢催促状(1351) ○越前島津家文書
  - ⑧明阿弥陀仏屋地寄進状(1366)
  - ⑨源頼朝下文(1192)(神奈川県立博物館蔵) ※11/4まで展示
  - ⑩近江南郡村々住民等起請文(1572)
  - ⑪北野縁起絵(岩松宮本)14世紀
- ※所蔵者を記したものの以外は本館蔵。○は重要文化財。

## その他の主な展示資料

- 「栄山寺文書」(本館蔵)
- 「若狭家文書」(京成大学総合博物館蔵)
- 「実隆公記」(京成大学史料編纂所蔵)
- 「広橋家文書」(本館蔵)
- 「豊後若林家文書」(本館蔵)



### 【交通案内】

- 京成電鉄利用の場合:京成上野駅から京成佐倉駅(京成本線經由特急利用の場合約55分)下車、バス約5分(一部直通バスあり)または徒歩約15分
- JR線利用の場合:東京駅から総武本線佐倉駅(快速利用の場合約60分)下車、バス約15分(一部直通バスあり)
- 自動車利用の場合:東関東自動車道四街道ICまたは佐倉ICから約15分 国道296号線沿い(無料大駐車場完備)

## 関連行事

### 歴博フォーラム

※要事前申込み。参加無料、先着順(定員260名)

- 第91回歴博フォーラム「中世の古文書—機能と形—」
  - 日時:10月19日(土)13時00分~16時30分
  - 講師:小倉 慈可、高橋 一樹、井原 今朝男、久留島 典子、富田 正弘 ■会場:歴博講堂
- ※お申し込みは往復はがきまたはEメールにて、「第91回10月19日歴博フォーラム参加希望」と明記のうえ、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をご記載ください。
- 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地  
国立歴史民俗博物館 広報サービス室 広報・普及係  
E-mail:forum@rekihaku.ac.jp  
開催日の2ヶ月前から前々日まで受け付けますが、定員に達した時点で締め切ります。

### 歴博講演会

※事前申し込みは不要です。聴講無料、先着順(定員260名)

- 第359回「中世の古文書を考える」
- 日時:11月9日(土)13時00分~15時00分
- 講師:小島道裕(当館歴史研究系教授) ■会場:歴博講堂

### ギャラリートーク

日程等については、れきはくHPをご覧ください。

ハローダイヤル TEL.03-5777-8600  
(午前8時00分~午後10時00分)  
(れきはくホームページ) <http://www.rekihaku.ac.jp>

30th Anniversary 国立歴史民俗博物館 NATIONAL MUSEUM OF JAPANESE HISTORY  
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 TEL:043-486-0123(代)